

ピースサイクル2014 for 六ヶ所

●● 核燃料サイクル ストップ! ●●

六ヶ所再処理工場を廃炉に!

■ フクシマ原発大事故がもたらしたもの

「3・11」から3年3ヶ月余、東日本を襲った未曾有な大地震によって、東京電力・福島第一原発は、世界で最大級の大事故を起こし、14万人もが故郷に帰れない「原発難民」をつくりだしています。地震発生後すぐに原子炉がメルtdownし、大量の放射能が原発周辺だけでなく、200キロも離れた首都圏でも汚染され、汚染対策で苦しんでいます。さらに、甲状腺がんの発生など子どもの健康被害が大きな問題となっています。

■ 安倍政権の原発再稼働、原発輸出、核燃料サイクルの強行を許さない!

政府や電力会社などの「原子カムラ」が推進してきた『原発安全神話』は崩壊し、原発ゼロ、再生可能な自然エネルギー社会を求める市民が多数になりました。

ところが安倍政権は、4月11日、エネルギー政策の中長期的な指針である「エネルギー基本計画」を閣議決定し、原発を「重要なベースロード電源」と位置づけ、再稼働の強行、新規原発の建設、原発の輸出、核燃料サイクルの堅持を強調しています。原発を稼働させなくても電気が足りていながら、なぜ、原発を永久化させる舵取りをしたのか。「原子カムラ」の利益構造擁護と合わせて核武装化への戦略を捨てられないからだと思います。

■ 福井地裁の「大飯原発差止め」判決の画期的な意義

5月21日、福井地裁（樋口裁判長）は、関西電力に対し、大飯原発3、4号機の運転差止めを命じる画期的な判決を出しました。この判決は、原発が抱える本質的な危険性を深く認識し、差止めの結論を導いたものです。人の生命・精神・生活など憲法に定められた「人格権」を最上の価値においたことで、脱原発訴訟や脱原発運動に大きな影響を与えています。

■ 再処理工場の稼働ストップ! 20年目の〈六ヶ所ピースサイクル〉に参加を!

下北半島の原子力半島化が、急ピッチで進んでいます。六ヶ所の再処理工場を中心とした核燃施設、東通原発、むつ中間貯蔵施設、大間原発等々です。六ヶ所村にある再処理工場は、多くのトラブルをおこし、本格操業の延期を余儀なくされてきました。私たちは、本格操業のストップ・廃炉をめざし、大間原発の建設や東通原発の再稼働ストップを通じて、下北半島を豊かな自然に取り戻したいと思います。

私たちは、今年20回目の〈ピースサイクル2014for 六ヶ所〉行動を成功させたいと思います。現地でがんばる反核燃の人々と交流し、反核燃の輪を全国各地に広めていきます。初めての方の参加を大歓迎します。

〈ピースサイクル2014for 六ヶ所〉 行動参加希望者は、7月末までにピースサイクル全国ネットワーク吉野（T & F 047-360-6064）まで一報ください。



ピースサイクル 2014for 六ヶ所スケジュール

8月23日(土)

- 13:00 六ヶ所村役場前集合
- 13:00~13:30 到着集会
- 13:40~14:40 昼食・六ヶ所の現状報告(菊川慶子さん)
- 14:50~16:30 核燃料サイクル一周と反核燃アピール行動
- 16:30~17:30 宿舎(牛小舎)に移動
- 18:00~21:00 夕食後、交流会「再処理工場の動向と反核燃の取組み」
(核燃料サイクル阻止1万人訴訟原告団・山田清彦さん)

参加費用

2泊6食など	
大人	16,000円
中高生	10,000円
小学生以下	無料

8月24日(日)

- 7:00~8:00 朝食
- 8:30~18:00 下北半島行動(牛小舎出発) 一核の「中間貯蔵施設」はいらない! 下北の会との交流会・むつ中間貯蔵地見学(昼食) 大間原発建設地見学・あさこハウスで交流会(小笠原厚子さん) 等 下風呂温泉入浴 宿舎へ
- 19:00~21:00 夕食・交流会(25日要請に関する意見交換)

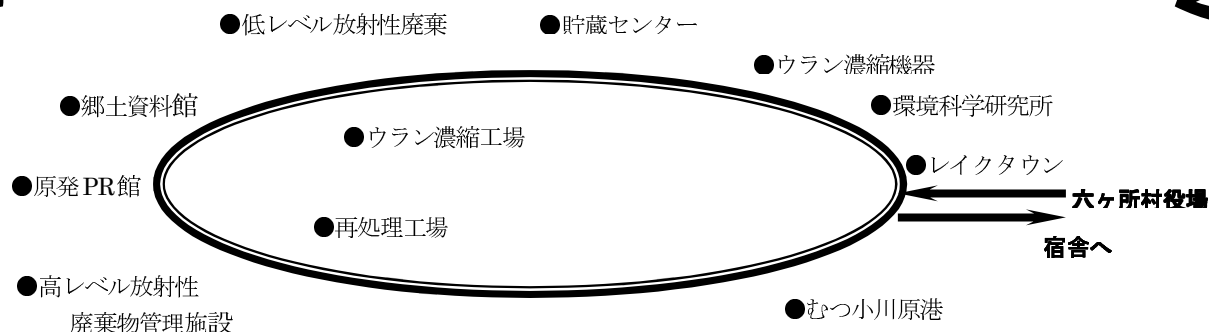
8月25日(月)

- 7:00~8:00 朝食
- 9:00~10:00 六ヶ所役場への申し入れ
- 10:20~11:20 原燃本社への申し入れ
- 14:30~15:30 青森県庁への申し入れ
- 16:00 解散

▼ 現地連絡先 ▼

牛小舎 TEL 0175-74-2522(菊川)
橋本携帯 090-5345-6965

核燃料サイクル施設一周ピースサイクル & 反核燃アピール行動



六ヶ所へのピースメッセージをお寄せください! (FAX 047-360-6064)

フクシマ原発大事故から学び、原発社会から再生可能な自然エネルギー社会に転換させるために、今こそ、核燃料サイクル政策を止めましょう! 六ヶ所村長、日本原燃社長、青森県知事、反核燃で闘っている現地の仲間へお寄せください。